

いいかお

引佐南部中学校区だより
學区 平成 30 年 10 月 26 日



「いいかお」
いなさなんぶちゅうの 「い」
いいのやししょうの 「い」
かなさししょうの 「か」
おくやましょうの 「お」

引佐南部中校長	安藤 篤喜
井伊谷小校長	大澤 重義
金指小校長	水谷 良治
奥山小校長	宮田真由美

日頃から引佐南部中学校区の幼稚園、小学校、中学校の教育活動につきまして、格別の御理解と御支援をいただき、深く感謝申し上げます。

引佐南部中学校区では、幼稚園と小学校、中学校の12年間の学びと育ちをつなぎ、連続性と継続性のある指導を行うため、協同して一貫した教育に取り組んでいます。



中学校区で共通して目指す子供像

- ◆人とのかかわりを大切にする子
- ◆学びを楽しむ子
- ◆基本的な生活習慣を身に付けた子



中学校区幼・小・中合同研修会が開催されました

毎年、引佐南部中学校区内の幼稚園、小学校、中学校の教員が集まり「引佐南部中学校区 幼・小・中の連携を進める会」を行っています。本年度は8月6日（月）に引佐多目的研修センターにて、開催しました。中学校区で共通して目指す子供像の具現のために、それぞれの幼稚園、学校で「研修部」「生徒指導部」「特別活動部」を柱として実践に取り組んでいます。

全体会では、各部から、昨年度の実践と本年度の計画についての報告がありました。

研修部からは、中学校教員による外国語活動の授業や生徒指導の話（中学校への心構え等）の出前授業を各小学校で実施するという話がありました。また、家庭学習への取り組み内容や、基礎学力を育むための手立ての共有を行いました。そして、相手に自分の言いたいことを分かりやすく伝える話し方や相手の意図や思いを捉えることができるような聞き方、考えを深め合うことができるような話し合いの仕方を、幼稚園から、小学校低学年、中学年、高学年、中学生と段階を踏んで系統表にし、各校で足並みを揃えて指導にあたることを確認しました。

生徒指導部からの報告では、生活についての小中ギャップを少なくし、中学入学に意欲と活気をもたせるために、引佐南部中学校の生活のきまりを小学校教員や幼稚園教員が共有しました。

特別活動部からは、子供たちの充実した話し合い活動のために、中学校区で話し合い活動の行い方を揃えていくことの確認をしました。各校で共通の話し合いセットを用意したり、議題ポストを作成したりして環境整備を進めていきます。



【全体会の様子】

全体会の後は、グループ研修を行いました。今回参加した82名の教員を、10のグループに分け、1つのグループには、幼小中それぞれの教員が入るようにしました。それぞれのグループで、代表者が事例を提示することで、今の園・学校における課題や解決策について話し合いをしました。



【グループ研修の様子】

生徒指導上の課題、発達支援教育の課題等、子供たちの指導に関する課題だけでなく、教員の働き方改革に関する課題も話題になりました。

それぞれのグループで、幼小中それぞれの立場から捉えた多角的な意見や情報の交換をすることができ、充実した研修をすることができました。

各グループで話し合った内容は、記録を残し、それぞれの園・学校で、今後の教育活動に生かしていきます。

引佐南部中学校区PTA研修会が開催されました

引佐南部中学校区PTAでは、共に子供たちの健全な成長を願い、子育てにおける課題を共有し研修を深めていこうと、青少年健全育成会と合同で研修会を開催しています。

- ・講師 一般社団法人日本ほめる達人協会 認定講師 鈴木 敦士 氏
- ・演題 『子どもがグングン育つ「笑い」と「ほめ達!」の魔法』

今年度は、奥山小学校を会場として9月28日（金）に開催しました。講師に鈴木敦士氏をお招きし、PTA、健全育成会各関係者71名の参加をいただきました。

今回の講演では、子供たち一人一人が自己肯定感を高め健やかに育っていく場づくりのためには、「笑い」と「ほめる」ことが大切であるということを中心にお話いただきました。

「笑う」とは、「体」と「心」を整え、人と人をつなげることでであると教えていただき、実際に参加者全員で手拍子と呼



吸を合わせることで、人と人とのつながりを体感し、笑いの効果を体感することができました。

また、「ほめる」とは、「人」「モノ」「起きる出来事」の価値を発見して、伝えることとお話いただきました。参加者同士でお互いの価値を発見して伝え合うエクササイズを行い、自分と相手との間に「安全・安心・あったかい」関係性をつくることを実感しました。

今後、少子化・高齢化が進む社会において、子供の可能性を最大限に引き出す環境をつくっていくことの大切さが求められています。そのために「笑い」と「ほめる」ことに心掛けながら子育てに取り組むことの大切さを学ぶよい機会となりました。

参加した方々からは、「久しぶりに大きな声で笑った。とても気持ちがよかった。子供たちと一緒に笑う機会を増やしたい。」「ほめ達の3S『すごい』『すてき』『すばらしい』は、すぐにできることなので家庭で実践したい。」といった声が聞かれました。

